

平成24年度

佐世保工業高等専門学校専攻科学生募集要項

I. 募集人員

機械工学専攻	4名
電気電子工学専攻	8名
物質工学専攻	4名

II. 選抜方法

入学者の選抜は、推薦による選抜、学力による選抜（前期・後期）及び社会人特別選抜とし、下記の日程で行います。

選抜区分		選抜期日	選抜人数
推薦による選抜		平成23年5月28日（土）	8名程度
社会人特別選抜		平成23年5月28日（土）	若干名
学力による選抜	前期	平成23年7月23日（土）	8名程度 （注1）
	後期	平成23年11月19日（土）	

注1 学力による選抜（後期）は、「推薦による選抜」及び「学力による選抜（前期）」による入学予定者の状況により実施の有無を決定します。実施の有無は、平成23年9月末日までに本校ホームページ（<http://www.sasebo.ac.jp/>）に掲載します。

III. 推薦による選抜

1. 出願資格

平成24年3月高等専門学校卒業見込の者で、次の要件を満たし在籍学校長が責任をもって推薦する者とします。

- (1) 第3学年と第4学年の成績が在籍したクラスの上位2分の1以内である者又は技術士第一次試験に合格した者。
- (2) TOEIC公開テスト又はTOEIC I Pテストで300点以上のスコアを取得している者。

※ 出願に際しては、14頁「出願資格とJABEEプログラム修了要件について」を参照してください。

JABEEについての詳細は、12頁「佐世保工業高等専門学校・技術者教育プログラム」を参照してください。

2. 出願区分

A 群	本校が定める出願資格を有している者で、 ・「佐世保高専・技術者プログラム」を修得している者及び平成 24 年 3 月に修得見込みの者。 ・他の教育機関で JABEE 認定コースを修得している者及び平成 24 年 3 月に修得見込みの者。
B 群	本校が定める出願資格を有している者で、A 群以外の出願者。

注 1) 「『佐世保工業高等専門学校・技術者教育プログラム』を修得している者」とは、平成 15 年 3 月以降に本校を卒業し、同プログラムを修得した者を示します。

注 2) JABEE についての詳細は、12 頁「佐世保工業高等専門学校・技術者教育プログラム」を参照してください。

3. 出願手続

(1) 願書受付

期 間	平成 23 年 5 月 9 日 (月) から 5 月 13 日 (金) まで (必着) とします。
時 間	8 時 30 分から 17 時まで。
場 所	〒857-1193 佐世保市沖新町 1 番 1 号 佐世保工業高等専門学校 学生課教育支援係

(2) 出願に必要な書類等

入学願書	本校所定の用紙に必要事項を記入したもの。
写 真 票 及び受験票	本校所定の用紙に必要事項を記入し、写真を所定の位置に貼ったもの。 写真は、正面上半身脱帽で出願 3 か月以内に撮影したもの。
調 査 書	本校所定の用紙に在籍学校長が作成し、厳封したもの。
推 薦 書	本校所定の用紙に在籍学校長が作成したもの。
志望理由書	本校所定の用紙に必要事項を記入したもの。
技術士第一次 試験合格者	技術士第一次試験合格証又は成績通知書のコピー (該当者のみ)
TOEIC スコ アシート	TOEIC 公開テスト又は TOEIC IP テストで 300 点以上のスコアを取得していることを証明できるスコアシート。
入学検定料	16,500 円 本校所定の様式により出願する本人の名前で、各種銀行の窓口から振り込んでください。振込み後「検定料納付証明書」を入学願書の所定の欄に貼付してください。 既納の検定料はいかなる理由があっても返還できません。 ①振込期間 平成 23 年 4 月 25 日 (月) ~ 5 月 13 日 (金) 振込の際は銀行の営業日、営業時間等を十分考慮して手続きを行ってください。なお、検定料を願書受付最終日に振込む場合は、最終日 17 時までに出願書類一式を提出しなければなりませんので注意して

	<p>ください。</p> <p>②振込場所 各種銀行の受付窓口(ゆうちょ銀行は除く)で必ず振込んでください。 ※ATM(現金自動預払機)は使用しないでください。</p> <p>③振込み方法等 ア. 振込時に別途必要な振込手数料は、出願者本人の負担となります。 イ. 「振込書」の※に、出願者の住所、氏名(フリガナ)及び電話番号を黒又は青のボールペンで正確に記入してください。 ウ. 「検定料納付証明書」を各種銀行の受付窓口から受け取る際には、必ず取扱銀行収納印を確認してください。</p>
返信用封筒	住所、氏名、郵便番号を明記した封筒に350円切手(速達料を含む。)を貼ったものを同封してください。(願書持参の場合は不要)
その他	外国人志願者は、居住する市区町村長発行の「外国人登録済証明書」を提出してください。

(3) 出願に関する注意事項

- ① 出願は、本校所定の出願書類により、受付期間に持参又は郵送してください。
ただし、郵送する場合は書留郵便として平成23年5月13日(金)必着となりますので注意してください。
- ② 出願書類等に不備がある場合は受理しないことがあります。
- ③ 出願書類に虚偽の記載があったときは、入学後においても入学許可を取り消すことがあります。
- ④ 願書提出後の記載事項の変更は認めません。
- ⑤ 一度受理した出願書類は、いかなる理由があっても返還しません。
また、払い込み済みの入学検定料については、次の場合を除き、返還しません。
 - 出願書類を提出しなかった場合または提出したが受理されなかった場合
 - 誤って二重に払い込んだ場合

(4) 身体等に障がいのある入学志願者との事前相談について

入学志願予定者で、身体等に障がいがあるため受験上もしくは修学上特別な配慮を希望する場合は、出願に先立ち学生課教育支援係に相談してください。

なお、相談の時期は回答に要する時間を考慮し、「推薦による選抜」の志願希望者は、平成23年4月25日(月)までとさせていただきます。

4. 選抜の方法

入学者の選抜は、在籍学校長から提出された推薦書、調査書及び面接(専門科目に関する口頭試問を含む。)の総合判定とします。

期 日	時 間 等	場 所
平成23年 5月28日(土)	9:00 集 合 9:30~ 面 接	佐世保工業高等専門学校 (指定する場所に、集合してください。)

5. その他の注意事項

- (1) 出願書類提出後、住所(郵便受取先)を変更した場合は、直ちに本校学生課教育支援係に届け出てください。
- (2) 選抜当日は、受験票、筆記用具を持参してください。

6. 合格者の発表

平成 23 年 6 月 1 日(水) 午前 10 時

学内に掲示するとともに、合格発表後、受験者本人及び在籍する学校長宛に文書で通知します。また、合格者の受験番号をインターネット上でも発表します。

(アドレス <http://www.sasebo.ac.jp/>)

なお、電話等による合否の問い合わせには一切応じません。

7. 入学手続

合格者に、別途通知します。

8. 入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、『入学確約書』を平成 23 年 6 月 24 日(金) 17 時必着で、佐世保工業高等専門学校学生課教育支援係へ提出してください。

なお、期限までに『入学確約書』を提出しない者は、入学の意思がないものとして取り扱います。

9. 「推薦による選抜」の結果、合格とならなかった場合の取扱い

「推薦による選抜」の結果、合格とならなかった者で「学力による選抜」を希望する者は、「学力による選抜」の募集要項により、再度、必要な書類等を整えて、出願期間内に手続きを行ってください。

ただし、「調査書」の提出は要しませんが、検定料は必要です。

区 分	出 願 期 間
学力による選抜《前期》	平成 23 年 6 月 27 日(月)～7 月 1 日(金)
学力による選抜《後期》	実施の有無は、平成 23 年 9 月末日までに本校ホームページ(http://www.sasebo.ac.jp/)に掲載します。

IV. 学力による選抜

1. 出願資格

- (1) 高等専門学校を卒業した者又は平成 24 年 3 月高等専門学校を卒業見込みの者。
- (2) 短期大学を卒業した者又は平成 24 年 3 月短期大学を卒業見込みの者。
- (3) 専修学校の専門課程を修了した者又は平成 24 年 3 月専修学校の専門課程を修了見込みの者のうち、学校教育法第 132 条の規定により大学に編入学することができる者。
- (4) 外国において、学校教育における 14 年の課程を修了した者。
- (5) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 14 年の課程を修了した者。
- (6) 我が国において、外国の短期大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 14 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者。
- (7) その他専攻科において、高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者。

※ 出願に際しては、14 頁「出願資格と JABEE プログラム修了要件について」を参照してください。J A B E E についての詳細は、12 頁「佐世保工業高等専門学校・技術者教育プログラム」を参照してください。

2. 出願区分

推薦による選抜に同じです。（2 頁を参照してください。）

3. 出願手続

(1) 願書受付

期 間	前期日程 平成 23 年 6 月 27 日（月）から 7 月 1 日（金）まで（必着）とします。
	後期日程 平成 23 年 10 月 28 日（金）から 11 月 4 日（金）まで（必着）とします。 なお、実施の有無は、平成 23 年 9 月末日までに本校ホームページ (http://www.sasebo.ac.jp/)に掲載します。
時 間	8 時 30 分から 17 時まで。（土・日曜日及び祝日は受け付けません。）
場 所	〒857-1193 佐世保市沖新町 1 番 1 号 佐世保工業高等専門学校 学生課教育支援係

(2) 出願に必要な書類等

入 学 願 書	本校所定の用紙に必要事項を記入したもの。
写 真 票 及び受験票	本校所定の用紙に必要事項を記入し、写真を所定の位置に貼ったもの。 写真は、正面上半身脱帽で出願 3 か月以内に撮影したもの。
調 査 書	本校所定の用紙に出身（在籍）学校長が作成し、厳封したもの。

志望理由書	本校所定の用紙に必要事項を記入したもの。
専攻科英語 学力試験免 除申請書	英語学力試験の免除を希望する場合は、本校所定の用紙に必要事項を記入し、TOEIC 公開テスト又は TOEICIP テストのスコアシートを添付すること。
健康診断書	平成 23 年 3 月以前の卒業者は、本校所定の用紙に医療機関の医師が作成したもの。
志願承認書	本校所定の用紙に所属の長が作成したもの。（企業等の在職者のみ。）
入学検定料	<p>16,500円</p> <p>本校所定の様式により出願する本人の名前で、各種銀行の窓口から振り込んでください。振込み後「検定料納付証明書」を入学願書の所定の欄に貼付してください。</p> <p>既納の検定料はいかなる理由があっても返還できません。</p> <p>①振込期間</p> <p>前期日程：平成 23 年 6 月 20 日(月)～ 7 月 1 日(金)</p> <p>後期日程：平成 23 年 10 月 21 日(金)～ 11 月 4 日(金)</p> <p>振込の際は銀行の営業日、営業時間等を十分考慮して手続きを行ってください。なお、検定料を願書受付最終日に振込む場合は、最終日 17 時までに出願書類一式を提出しなければなりませんので注意してください。</p> <p>②振込場所</p> <p>各種銀行の受付窓口(ゆうちょ銀行は除く)で必ず振込んでください。</p> <p>※ATM(現金自動預払機)は使用しないでください。</p> <p>③振込み方法等</p> <p>ア. 振込時に別途必要な振込手数料は、出願者本人の負担となります。</p> <p>イ. 「振込書」の※に、出願者の住所、氏名(フリガナ)及び電話番号を黒又は青のボールペンで正確に記入してください。</p> <p>ウ. 「検定料納付証明書」を各種銀行の受付窓口から受け取る際には、必ず取扱銀行収納印を確認してください。</p>
返信用封筒	住所、氏名、郵便番号を明記した封筒に 350 円切手(速達料を含む。)を貼ったものを同封してください。(願書持参の場合は不要)
その他	外国人志願者は、居住する市区町村長発行の「外国人登録済証明書」を提出してください。

(3) 出願に関する注意事項

- ① 出願は、本校所定の出願書類により、受付期間に持参又は郵送してください。ただし、郵送する場合は書留郵便として**受付期間の最終日必着**となりますので注意してください。
- ② 出願書類等に不備がある場合は受理しないことがあります。
- ③ 出願書類に虚偽の記載があったときは、入学後においても入学許可を取り消すことがあります。
- ④ 願書提出後の記載事項の変更は認めません。
- ⑤ 一度受理した出願書類は、いかなる理由があっても返還しません。
また、払い済み済みの入学検定料については、次の場合を除き、返還しません。
 - 出願書類を提出しなかった場合または提出したが受理されなかった場合
 - 誤って二重に払い込んだ場合

(4) 身体等に障がいのある入学志願者との事前相談について

入学志願予定者で、身体等に障がいがあるため受験上もしくは修学上特別な配慮を希望する場合は、出願に先立ち学生課教育支援係に相談してください。

なお、相談の時期は回答に要する時間を考慮し、「学力による選抜」の志願希望者は、前期日程は平成23年6月13日(月)まで、後期日程は平成23年10月14日(金)までとさせていただきます。

4. 選抜の方法

入学者の選抜は、学力試験、調査書及び面接（専門科目に関する口頭試問を含む。）の総合判定とします。

(1) 選抜の日時及び場所

期 日	時 間	科 目 等	場 所
前期日程 7月23日(土)	9:00	集 合	佐世保工業高等専門学校 (指定する場所に、集合して ください。)
	9:30 ~ 11:00	専門科目	
後期日程(注1) 11月19日(土)	11:20 ~ 12:20	数 学	
	13:20 ~ 14:20	英 語	
	14:30 ~	面 接	

※志願者全員が英語の試験免除となった場合は、面接時間を繰り上げて実施します。

注1 後期日程の実施の有無は、平成23年9月末日までに本校ホームページ
(<http://www.sasebo.ac.jp/>)に掲載します。

(2) 学力試験科目及び出題分野

専 攻 名	学 力 試 験 科 目 及 び 出 題 分 野	
機 械 工 学 専 攻	専門科目	熱力学、流体力学、材料力学、材料学、機械工作法 (関数電卓を必ず持参すること。)
	英 語	
	数 学	微積分(偏微分、重積分を含む)、線形代数、常微分方程式
電 気 電 子 工 学 専 攻	専門科目	電気磁気学、電気回路、電子回路、情報処理 以上4科目から3科目を選択してください
	英 語	
	数 学	微積分(偏微分、重積分を含む)、線形代数、常微分方程式
物 質 工 学 専 攻	専門科目	物理化学、生化学、有機化学、無機化学、化学工学 以上5科目から3科目を選択してください。(関数電卓を持参すること)
	英 語	
	数 学	微積分(偏微分、重積分を含む)、線形代数、常微分方程式

※ 機械工学専攻と物質工学専攻の専門科目試験については、関数電卓の使用を許可しますので、必ず持参してください。

次のいずれかに該当する者は英語の試験を免除する。

- ① 実用英語技能試験 2 級以上を取得した者。
合格証書のコピーを添付すること。
- ② TOEIC 公開テスト又は TOEIC IP テストで 350 点以上のスコアを取得したもの。
スコアシートを添付すること。

この制度による英語学力選抜試験の免除を希望する志願者は、出願書類を提出する際に申請してください。詳しくは佐世保高専学生課教育支援係へ問合せてください。

なお、英語点への換算は以下のとおりです：

- ㊦ 英検 2 級合格の場合 100 点。
- ④ TOEIC スコア 350 点で英語点 60 点、TOEIC スコア 450 点以上で英語 100 点。TOEIC スコア 351 点～449 点に関しては、次の式により換算する（小数点以下は四捨五入）。

$$\text{英語点} = 60 \text{ 点} + 0.4 \times (\text{TOEIC スコア} - 350 \text{ 点})$$

また、TOEIC スコアが 350 点以上ある場合でも、英語学力試験の受験は可能ですが、その時の、英語の試験の成績は、学力試験の成績と TOEIC スコアのうち高い方を採用します。

5. その他の注意事項

- (1) 出願書類提出後、住所（郵便受取先）を変更した場合は、直ちに本校学生課教育支援係に届け出てください。
- (2) 選抜当日は、受験票、筆記用具、昼食を持参してください。

6. 合格者の発表

前期日程：平成 23 年 7 月 27 日(水) 午前 10 時

後期日程：平成 23 年 11 月 22 日(火) 午前 10 時

学内に掲示するとともに、発表後、受験者全員に合否を文書で通知します。

また、合格者の受験番号をインターネット上でも発表します。

(アドレス <http://www.sasebo.ac.jp/>)

なお、電話等による合否の問い合わせには一切応じません。

7. 入学手続

合格者に、別途通知します。

8. 入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、『入学確約書』を前期日程は平成 23 年 8 月 19 日(金)、後期日程は平成 23 年 12 月 9 日(金) 17 時必着で、佐世保工業高等専門学校学生課教育支援係へ提出してください。

なお、期限までに『入学確約書』を提出しない者は、入学の意思がないものとして取り扱います。

V. 社会人特別選抜

1. 出願資格

所属する企業等の長が推薦する者で次のいずれかに該当し、かつ企業等就業期間が出願時において1年以上ある者。

- (1) 高等専門学校を卒業した者。
- (2) 短期大学を卒業した者。
- (3) 専修学校の専門課程を修了した者のうち、学校教育法第132条の規定により大学に編入することができる者。
- (4) 外国において、学校教育における14年の課程を修了した者。
- (5) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における14年の課程を修了した者。
- (6) 我が国において、外国の短期大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における14年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者。
- (7) その他専攻科において、高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者。

※ 出願に際しては、14頁「出願資格とJABEEプログラム修了要件について」を参照してください。

JABEEについての詳細は、12頁「佐世保高専・技術者教育プログラム」を参照してください。

2. 出願区分

推薦による選抜に同じです。（2頁を参照してください。）

3. 出願手続

(1) 願書受付

期 間	平成23年5月9日（月）から5月13日（金）まで（必着）とします。
時 間	8時30分から17時まで。
場 所	〒857-1193 佐世保市沖新町1番1号 佐世保工業高等専門学校 学生課教育支援係

(2) 出願に必要な書類等

入学願書	本校所定の用紙に必要事項を記入したもの。
写 真 票 及び受験票	本校所定の用紙に必要事項を記入し、写真を所定の位置に貼ったもの。 写真は、正面上半身脱帽で出願3か月以内に撮影したもの。
調 査 書	本校所定の用紙に出身学校長が作成し、厳封したもの。
志望理由書	本校所定の用紙に必要事項を記入したもの。
健康診断書	本校所定の用紙に医療機関の医師が作成したもの。
推 薦 書	本校所定の用紙に所属の長が作成したもの。（企業等の在職者のみ。）

入学検定料	<p>16,500円</p> <p>本校所定の様式により出願する本人の名前で、各種銀行の窓口から振り込んでください。振込み後「検定料納付証明書」を入学願書の所定の欄に貼付してください。</p> <p>既納の検定料はいかなる理由があっても返還できません。</p> <p>①振込期間 平成23年4月25日(月)～5月13日(金)</p> <p>振込の際は銀行の営業日、営業時間等を十分考慮して手続きを行ってください。なお、検定料を願書受付最終日に振込む場合は、最終日17時までに出願書類一式を提出しなければなりませんので注意してください。</p> <p>②振込場所 各種銀行の受付窓口(ゆうちょ銀行は除く)で必ず振込んでください。 ※ATM(現金自動預払機)は使用しないでください。</p> <p>③振込み方法等 ア. 振込時に別途必要な振込手数料は、出願者本人の負担となります。 イ. 「振込書」の※に、出願者の住所、氏名(フリガナ)及び電話番号を黒又は青のボールペンで正確に記入してください。 ウ. 「検定料納付証明書」を各種銀行の受付窓口から受け取る際には、必ず取扱銀行収納印を確認してください</p>
返信用封筒	住所、氏名、郵便番号を明記した封筒に350円切手(速達料を含む。)を貼ったものを同封してください。(願書持参の場合は不要)
その他	外国人志願者は、居住する市区町村長発行の「外国人登録済証明書」を提出してください。

(3) 出願に関する注意事項

- ① 出願は、本校所定の出願書類により、受付期間に持参又は郵送してください。ただし、郵送する場合は書留郵便として平成23年5月13日(金)必着となりますので注意してください。
- ② 出願書類等に不備がある場合は受理しないことがあります。
- ③ 出願書類に虚偽の記載があったときは、入学後においても入学許可を取り消すことがあります。
- ④ 願書提出後の記載事項の変更は認めません。
- ⑤ 一度受理した出願書類は、いかなる理由があっても返還しません。
また、払い込み済みの入学検定料については、次の場合を除き、返還しません。
 - 出願書類を提出しなかった場合または提出したが受理されなかった場合
 - 誤って二重に払い込んだ場合

(4) 身体等に障がいのある入学志願者との事前相談について

入学志願予定者で身体等に障がいがあるため、受験上もしくは修学上特別な配慮を希望する場合は、出願に先立ち学生課教育支援係に相談してください。

なお、相談の時期は回答に要する時間を考慮し、「社会人特別選抜」の志願希望者は、平成23年4月25日(月)までとさせていただきます。

4. 選抜の方法

入学者の選抜は、所属長から提出された推薦書、調査書及び面接（専門科目に関する口頭試問を含む。）の総合判定とします。

期 日	時 間 等	場 所
平成 23 年 5 月 28 日(土)	9:00 集 合 9:30～ 面 接	佐世保工業高等専門学校 (指定する場所に、集合してください。)

5. その他の注意事項

推薦による選抜に同じ。（4頁を参照してください。）

6. 合格者の発表

平成 23 年 6 月 1 日(水) 午前 10 時

学内に掲示するとともに、発表後、受験者全員及び所属長に文書で通知します。
また、合格者の受験番号をインターネット上でも発表します。

(アドレス <http://www.sasebo.ac.jp/>)

なお、電話等による可否の問い合わせには一切応じません。

7. 入 学 手 続

合格者に、別途通知します。

8. 入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、『入学確約書』を平成 23 年 6 月 24 日(金) 17 時必着で、佐世保工業高等専門学校学生課教育支援係へ提出してください。

なお、期限までに『入学確約書』を提出しない者は、入学の意思がないものとして取り扱います。

VI. 受験者心得

1. 試験当日は 9 時までに本校に集合してください。
2. 受験票、筆記用具、昼食（「学力による選抜」受験者のみ。）を持参してください。
3. 試験当日は、試験会場の掲示の注意事項などをよく読んでおいてください。
4. 受験者は、試験開始 10 分前までに入室し、各自の受験番号と同一受験番号札の席につき、受験票を机上の受験番号札の横に置いてください。
5. 試験室には、鉛筆、シャープペン、消しゴム、腕時計（計算・翻訳機能付きは不可）以外の物を持ち込むことはできません。
ただし、機械工学専攻または物質工学専攻を受験する者の専門科目については、関数電卓の使用を許可しますので持参してください。
6. 解答用紙の指定欄には、必ず受験番号を記入してください。
7. 試験終了までは退室できません。面接試験は指示に従ってください。
8. 不正行為のあった者には、直ちに退室を命じ、以後の受験は認めません。
9. 事故などより遅刻した場合は、試験場の事務室に届け出て、指示を受けてください。

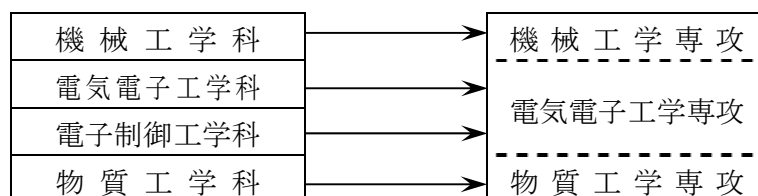
入 学 案 内

1. 設 置

近年、科学技術水準の高度化とシステム化が急速な勢いで進む中で、産業界では絶え間ない技術革新への対応を迫られているのが現状です。このような社会背景と地域社会との連携・協力として、専攻科は、

- 応用力と創造力を兼ね備えた研究開発型技術者の育成
- 社会人技術者への門戸開放と再教育の場
- 企業との共同研究を通じて研究成果の社会への還元

という重要な使命を担い、平成9年度に本科の4学科に対応して次の3コースが設置されました。



高専本科5年課程を経て、専攻科教育課程の必要な単位を修得し、一定の要件（学修成果レポートの提出と小論文試験）を満たせば、大学評価・学位授与機構から『学士（工学）』の学位が授与され大学学部卒業と同等となり、大学院への進学も可能となります。

また、平成15年度からは、本科4、5年と専攻科を合わせた4年間の教育において、日本技術者教育認定機構（JABEE）対応の技術者教育プログラム「複合型もの創り工学」を設定し、平成17年5月にJABEE認定を受け平成16年度修了生より適用されました。これにより国際的に認められた技術者として認定されることとなります。

2. 佐世保工業高等専門学校・技術者教育プログラム

(1) プログラム名

「複合型もの創り工学」

(2) 育成する技術者像

グローバル化した社会において、高度化、複合化した工学分野の諸問題を解決して「もの創り」を行うために、各専門分野（機械工学、電気電子工学、物質工学）について深い専門性を養いつつ、先進的な他の専門分野の知識と技術も身につける複合的な教育を行うことにより、複眼的な問題解決能力を備えた創造性豊かな、世界に通用する「もの創り技術者」を育成します。

(3) 学習・教育目標

(A) 工学の基礎と専門

- 1) 数学（微分積分学、線形代数、微分方程式、確率・統計など）と自然科学（物理、化学など）の基礎知識を身につけて、工学的諸問題の解決に応用できること
- 2) 情報技術の基礎知識を身につけて、情報収集、実験データの解析・評価のツールとしてコンピュータを活用できること
- 3) 基礎工学の知識を身につけて、複合化した「もの創り」の実務における工学的諸問題の解決に応用できること
- 4) それぞれの専門分野における”もの創り”のための4つの専門科目群（材料・要素、設計・製造、評価・解析、複合系）の知識を身につけて、”もの創り”に応用できること

(B) 地球的視点と技術者倫理

- 1) 他の国の歴史的・文化的背景や国際問題に関する基礎知識を身につけて、グローバルな視点でものごとを考えることができること
- 2) 技術が社会や自然に与える影響・効果を理解して、技術者としての責任を自覚できること

(C) コミュニケーション能力

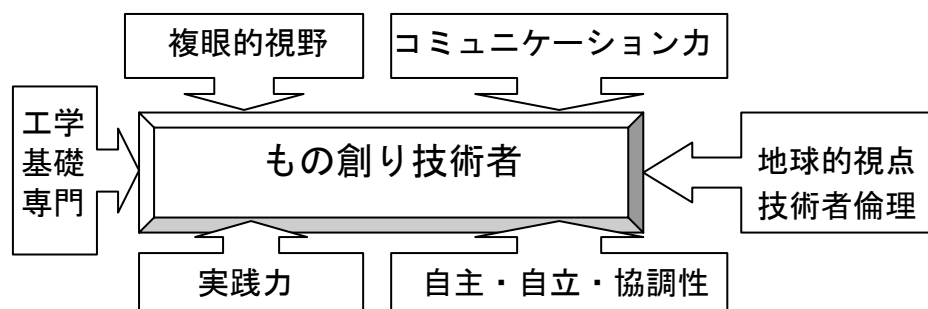
- 1) 技術的な内容を日本語により文章や口頭で論理的に説明できること
- 2) 相手の質問や意見を聞いて日本語で適切に答えることができること
- 3) 英語による基礎的なコミュニケーションができること
- 4) 基礎的な技術英語の文章を読み書きできること

(D) 複眼的かつ実践的能力

- 1) 自分で具体的な計画や手順を決めて基礎的な実験を実施し、得られた結果を正しく評価・解析して考察し、論理的に説明できること
- 2) いくつかの専門分野の知識や利用可能な情報・技術・手段を駆使するとともに創造性を発揮して、調査・解析をおこない、解決策を組み立てて実行し、課題を解決できること
- 3) 社会の要求する課題を解決するにあたって、その内容を分析して、計画や方策を複眼的にデザインできること
- 4) 実験、実習、研究、インターンシップなどを通して実践的能力を身につけ、技術者が経験する実務上の問題や課題を理解して適切な対応ができること

(E) 自主・自立と協調性

- 1) 社会の要請に迅速に対応し、科学技術の進展を先導するため、自主的・継続的に学習できること。
- 2) 要求された課題に対して、自立して、あるいは他の人と協力しながら計画的に作業を進め、期限内に終わらせることができること
- 3) 健全な心身を持ち、学内外の人々と協調して行動できること



(4) プログラムの構成

本科4、5年と専攻科の2年までの4年間で構成されています。(全学科及び全専攻)

(5) プログラム履修者の決定

専攻科への入学をもって対象者と決定します。

(6) 認定対象学生

認定対象は専攻科修了生全員です。

(7) プログラムの修了要件

本プログラムの修了要件の全てを満たした者に修了証書を授与します。

【佐世保工業高等専門学校・技術者教育プログラム「複合型もの創り工学」の履修規程抜粋】
第7条 本プログラムの修了要件は次の各号とし、全てを満たした者に修了証書を授与する。

- 一 本校の専攻科教育課程の必要な単位を修得すること。
- 二 大学評価・学位授与機構より、学士の学位を受けること。
- 三 本プログラムにおいて、124単位以上を修得すること。
- 四 学習保証時間の総計がJABEE基準を満たしていること。
- 五 付表に定める学習・教育目標とその評価方法および評価基準を満たしていること。

2 本プログラムの修了認定は、専攻科委員会において行う。

(8) 出願資格と JABEE プログラム修了要件について

専攻科に入学した者は、全員、佐世保工業高等専門学校本科・専攻科「複合型もの創り工学」プログラムの履修者となります。しかし、本教育プログラムは、具体的には佐世保工業高等専門学校の本科4、5年生及び専攻科1年、2年のカリキュラム(平成16年4月1日から施行)で構成されていますので、募集要項の出願資格に定める専攻科に入学できる者であっても、JABEEプログラムの修了要件を満たさない場合があります。

専攻科の入学合格者で、JABEEプログラム修了要件を満たさない場合は、専攻科入学後に補講等により、学力認定を受け、定められた基準を満たす必要があります。

① 佐世保工業高等専門学校卒業(見込み)者の場合

JABEE「複合型もの創り工学」プログラムに規定されている科目を専攻科入学前に履修しないで合格となった者は、入学後に補講等でこれらの科目を受講し、単位を修得する必要があります。

佐世保工業高等専門学校卒業生であっても、平成15年3月以前の卒業生に対しては成績証明書、シラバス等で個別の審査を実施します。審査の結果、修了要件を満たさないと判定された場合は、補講等を受講し、学力認定を受け、定められた基準を満たさなければなりません。

② 佐世保工業高等専門学校卒業者以外の場合

佐世保工業高等専門学校以外で合格した者については、成績証明書、シラバス等の学習保証時間を証明することができる書類により履修科目を個別に審査します。審査の結果、本校と同等の科目・基準で修得したと認められない場合には、補講等を受講し、定められた基準を満たす必要があります。

※ 出願に先立ち佐世保工業高等専門学校学生課教育支援係へ問い合わせることをお勧めします。

3. 専攻名及び入学定員

機械工学専攻	4名
電気電子工学専攻	8名
物質工学専攻	4名

4. 修了要件

- (1) 専攻科に2年以上在学し、所定の授業科目を履修し、64単位以上を修得すること。
ただし、機械工学専攻及び電気電子工学専攻にあつては、一般科目17単位以上、専門基礎科目15単位、専門科目32単位以上、物質工学専攻にあつては、一般科目15単位以上、専門基礎科目15単位、専門科目34単位以上修得しなければならない。
- (2) 本校において別に定める技術者教育プログラム「複合型もの創り工学」を修了すること。

5. 各専攻の内容

(1) 機械工学専攻

あらゆる産業の根幹をなす機械工学では独創的研究開発を展開するための基礎科学である場の力学、粘性流体力学、熱流動工学、機械振動論などの力学関連の専門科目を中心に、機械要素の設計・製作・制御に関連した精密加工特論、工業計測学、メカトロニクス工学を修得する。さらに、情報、バイオ、環境などの分野横断的な科目も修得することにより、先進的でシステムデザイン能力を有する技術者を養成する。

(2) 電気電子工学専攻

エレクトロニクス・コンピュータ技術の基礎となる数理科学系科目を中心に、材料科学や生産システム工学など幅広い分野・領域の科目を修得し、産業界での設計・生産や研究開発分野の先進的技術者として、多面的、かつ総合的に寄与できる基礎能力を涵養する。さらに、特別研究などを通じて、新規分野の開拓能力、高い問題解決能力を培い、システム創成能力を有する実践的技術者を養成する。

(3) 物質工学専攻

付加価値の高い素材・製品の研究開発と生産技術を中心とする化学工業の分野と、医薬品等の製造で実用化が図られている先端的バイオ技術分野にわたって幅広い高度な専門知識を修得する。さらに、特別研究などを通じて、環境・エネルギー問題への化学・生物学的見地から対処できる能力を養い、各種分析技術や材料開発を含めた関連の技術分野における開発・研究に従事できる創造的技術者を養成する。

6. 学士の学位の取得方法

高等専門学校専攻科教育課程の必要な単位を修得し、一定の要件を満たした場合、大学評価・学位授与機構の審査により学士の学位を取得できることとなっています。

その要件とは、大学評価・学位授与機構の認定を受けた高等専門学校の専攻科で2年以上にわたって62単位以上を取得し、大学を卒業した者と同等以上の学力を有すると認められることです。本校の専攻科は大学評価・学位授与機構の認定を得ており、専攻科教育課程の必要な単位を修得後、学士の学位を取得する途が開かれています。

(参考)

☆ 大学評価・学位授与機構の審査手数料

学位取得を目指す者は、大学評価・学位授与機構への学位授与申請に伴う審査手数料25,000円(平成22年度)が必要です。

7. 入学時に必要な諸経費

入学料	納付金額	84,600円(予定額)
授業料	納付金額(前期分)	117,300円(年額234,600円)(予定額)

※1 上記の納付金額は予定額であり、入学時及び在学中に学生納付金の改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金額が適用されます。

※2 授業料は、4月に年額を一括納付することができます。

※3 その他教科書代他として、約40,000円が必要です。

8. 入学料・授業料の免除及び徴収猶予制度

(1) 入学料について

入学前1年以内において、入学する者の学資を主として負担している者が死亡したり、風水害の災害を受けた場合、その他やむを得ない理由により入学料の納付が著しく困難であると認められた者には、選考の上、入学料の全額若しくは半額を免除する制度があります。また、経済的理由等で納付期限までに納付が困難であり、かつ学業成績優秀と認められる場合は、徴収の猶予を許可する制度があります。

(2) 授業料について

経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀であると認められる者又は風水害による災害を受け、納付が困難と認められる者には、選考の上、授業料の全額若しくは半額を免除する制度があります。また、経済的理由等で納付期限までに納付が困難であり、かつ、学業成績優秀と認められる場合は、徴収の猶予を許可する制度があります。

9. 奨学金制度

独立行政法人日本学生支援機構の規定に基づき、学業・人物ともに優れ、かつ、健康であって学資の支弁が困難と認められる者に対し、本人の申請に基づき、選考の上、奨学金が貸与される制度があります。

10. 学生寮

通学困難で、やむを得ない事情のある学生は、本校の学生寮に入寮を希望することができます。

入寮希望者は、選考の上、入寮を許可します。

この場合、経費として食費約 30,000 円（月額）及び寄宿料・光熱水料等約 45,000 円（半年分）が必要です。

11. 教育課程

18 頁以降を参照してください。

専攻科教育課程

一般科目及び専門基礎科目(機械工学・電気電子工学専攻)

授業科目		単位数	標準履修年次	備考	
一般科目	必修科目	日本語表現法	2	1年	4単位以上修得
		総合英語Ⅰ	2	1年	
		総合英語Ⅱ	2	2年	
		応用コミュニケーション	1	1年	
		数理科学Ⅰ	2	1年	
		数理科学Ⅱ	2	1年	
		一般化学	2	1年	
		必修科目修得単位数計	13	/	
	選択科目	技術と哲学	2	2年	
		国際協力論	2	1年	
		対外交渉史論	2	1年	
		社会福祉論	2	1年	
		選択科目開設単位数計	8	/	
		選択科目修得単位数計	4以上	/	
	一般科目修得単位数計		17以上	/	
専門基礎科目	必修科目	技術者総合ゼミⅠ	2	1年	
		技術者総合ゼミⅡ	1	2年	
		総合創造実験	2	1年	
		総合創造演習	2	1年	
		現代物理学	2	1年	
		数値解析	2	1年	
		機能材料論	2	1年	
		環境論	2	1年	
		専門基礎科目修得単位数計	15	/	
	一般科目及び専門基礎科目開設単位数計		36	/	
一般科目及び専門基礎科目修得単位数計		32以上	/		

一般科目及び専門基礎科目(物質工学専攻)

授 業 科 目		単位数	標準履修年次	備 考	
一 般 科 目	必 修 科 目	日 本 語 表 現 法	2	1年	4単位以上修得
		総 合 英 語 I	2	1年	
		総 合 英 語 II	2	2年	
		応 用 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	1	1年	
		数 理 科 学 I	2	1年	
		数 理 科 学 II	2	1年	
		必修科目修得単位数計	11		
	選 択 科 目	技 術 と 哲 学	2	2年	
		国 際 協 力 論	2	1年	
		対 外 交 渉 史 論	2	1年	
		社 会 福 祉 論	2	1年	
		選択科目開設単位数計	8		
		選択科目修得単位数計	4以上		
	一般科目修得単位数計		15以上		
専 門 基 礎 科 目	必 修 科 目	技 術 者 総 合 ゼ ミ I	2	1年	
		技 術 者 総 合 ゼ ミ II	1	2年	
		総 合 創 造 実 験	2	1年	
		総 合 創 造 演 習	2	1年	
		現 代 物 理 学	2	1年	
		数 値 解 析	2	1年	
		機 能 材 料 論	2	1年	
		環 境 論	2	1年	
	専門基礎科目修得単位数計		15		
一般科目及び専門基礎科目開設単位数計		34			
一般科目及び専門基礎科目修得単位数計		30以上			

専門科目(機械工学専攻)

授業科目		単位数	標準履修年次	備考	
専 門 科 目	必 修 科 目	特 別 研 究	8	2年	6単位以上修得
		科 学 英 語 文 献 ゼ ミ	2	2年	
		場 の 力 学	2	1年	
		粘 性 流 体 力 学	2	1年	
		精 密 加 工 特 論	2	1年	
		熱 流 動 工 学	2	2年	
		機 械 振 動 論	2	1年	
		情 報 基 礎 論	2	1年	
		ソ フ ト ウ ェ ア 科 学 概 論	2	1年	
		生 命 科 学	2	1年	
		必修科目修得単位数計	26		
科 目	選 択 科 目	固 体 力 学	2	1年	
		製 造 シ ス テ ム 論	2	1年	
		流 れ 学	2	2年	
		破 壊 強 度 論	2	2年	
		応 用 計 測 工 学	2	2年	
		応 用 力 学 解 析 法	2	2年	
		工 業 計 測 学	2	2年	
		メ カ ト ロ ニ ク ス 工 学	2	2年	
		材 料 科 学	2	2年	
		応 用 物 理 化 学	2	2年	
		イ ン タ ー ン シ ッ プ	2	2年	
		選択科目開設単位数計	22		
		選択科目修得単位数計	6以上		
専 門 科 目 開 設 単 位 数 計		48			
専 門 科 目 修 得 単 位 数 計		32以上			
一 般 科 目 及 び 専 門 基 礎 科 目 開 設 単 位 数 計		36			
一 般 科 目 及 び 専 門 基 礎 科 目 修 得 単 位 数 計		32以上			
開 設 単 位 数 総 計		84			
修 得 単 位 数 総 計		64以上			

専門科目(電気電子工学専攻)

授業科目		単位数	標準履修年次	備考	
専 門 科 目	必 修 科 目	特 別 研 究	8	2年	6単位以上修得
		科 学 英 語 文 献 ゼ ミ	2	2年	
		材 料 科 学	2	2年	
		情 報 科 学	2	2年	
		画 像 情 報 工 学	2	1年	
		通 信 方 式	2	1年	
		電 気 エ ネ ル ギ ー 応 用	2	1年	
		固 体 力 学	2	1年	
		製 造 シ ス テ ム 論	2	1年	
		生 命 科 学	2	1年	
		必修科目修得単位数計	26		
	選 択 科 目	情 報 基 礎 論	2	1年	
		ソ フ ト ウ ェ ア 科 学 概 論	2	1年	
		非 線 形 回 路	2	1年	
		知 識 情 報 工 学	2	2年	
		放 電 工 学	2	2年	
		磁 気 工 学	2	2年	
		メ カ ト ロ ニ ク ス 工 学	2	2年	
		工 業 計 測 学	2	2年	
		生 産 シ ス テ ム 工 学	2	2年	
		応 用 物 理 化 学	2	2年	
		イ ン タ ー ン シ ッ プ	2	2年	
		電 気 通 信 概 論	2	1,2年	
		選択科目開設単位数計	24		
選択科目修得単位数計	6以上				
専 門 科 目 開 設 単 位 数 計		50			
専 門 科 目 修 得 単 位 数 計		32以上			
一 般 科 目 及 び 専 門 基 礎 科 目 開 設 単 位 数 計		36			
一 般 科 目 及 び 専 門 基 礎 科 目 修 得 単 位 数 計		32以上			
開 設 単 位 数 総 計		86			
修 得 単 位 数 総 計		64以上			

付表 学習・教育目標とその評価方法および評価基準

学習・教育目標		評価方法および評価基準	総合評価項目	
(A)	工学の基礎と専門	A-1	①別表A-1欄に示す数学・自然科学の科目各群より各専攻における必修科目以上を修得する。 ②数学については、多変数関数の微積分、線形空間、行列、行列式、微分方程式、確率分布、仮説検定の内容の総合試験Ⅰ（基礎）により評価する。 ③一般化学については、原子構造、化学量論、化学結合、酸・塩基、酸化・還元、基礎有機化学の内容の総合試験Ⅰ（基礎）により評価する。 ④物理については、力学（運動の法則、運動量、放物運動）、電磁気学（静電場、直流回路、磁場、電磁力、電磁誘導）、現代物理（特殊相対論、一般相対論、物質の波動性と粒子性、量子力	総合試験Ⅰ （数学、自然科学、情報技術）
		A-2	①別表A-2欄に示す情報技術の科目群より各専攻における必修科目以上を修得する。 ②基本的なプログラムやアルゴリズムを理解し、作成、プログラム化できることを技術士一次試験レベルの総合試験Ⅰ（基礎）により評価する。	
		A-3	①別表A-3欄に示す基礎工学の「設計・システム系」、「情報・論理系」、「材料・バイオ系」、「力学系」、「社会技術系」から各系1科目、計6科目以上を修得する。 ②設計・システム、材料・バイオ、力学、社会技術に関する内容の技術士一次試験レベルの総合試験Ⅱ（基礎工学）により評価する。	総合試験Ⅱ （基礎工学）
		A-4	①別表A-4欄に示すもの創り専門工学の「材料・要素群」、「設計・製造群」、「評価・解析群」、「複合系群」から各群2科目以上を修得する。 ②材料・要素、設計・製造、評価・解析、複合系に関する内容の技術士一次試験レベルの総合試験Ⅲ（専門工学）により評価する。	総合試験Ⅲ （専門工学）
(B)	地球的視点と技術者倫理	B-1	①別表B-1欄に示す「社会系科目群」より2科目以上修得する。ただし、専攻科においては「対外交渉史論」か「国際協力論」のどちらかを修得する。 ②「民族や宗教に根ざす地域紛争や重要資源の利権に係る国際問題など、現代の国際社会における諸問題」の中から具体的なテーマを設定させ、レポートを提出させる（総合試験Ⅳ）。「歴史的・文化的背景を踏まえているか」、「多文化共生、文化の相対性などの概念を踏まえているか」、「グローバルな視点で問題を捕らえているか」、「テーマの設定が適切で、問題に対する理解度が十分か」という観点から評価す	総合試験Ⅳ （地球的視点）
		B-2	①別表B-2欄に示す「倫理系科目群」より2科目以上修得する。 ②技術者の専門職としての責務、技術と公衆、社会、環境との関係、また、科学技術の社会的意味など、現代の技術者や科学技術をめぐる諸問題について具体的なテーマを設定させ、レポートを提出させる（総合試験Ⅴ）。「技術が公衆、社会、環境などに与える影響を理解しているか」、「科学技術と人間生活の関係をグローバルにとらえる視点があるか」、「技術者としての社会的責任の自覚があるか」、「テーマの設定が適切で、問題に対する理解度が十分か」という観点から評価する。	総合試験Ⅴ （技術者倫理）
(C)	コミュニケーション能力	C-1	①「日本語表現法」において、自ら取組んだ研究について、一般人対象に説明する文章を作成させ、評価する。 ②「卒業研究」と「特別研究」の審査・発表会で評価する。	
		C-2	①「技術者総合ゼミ」において、プレゼンテーション、ディベート、講演会などにおける質疑応答を評価する。 ②「卒業研究」と「特別研究」の審査・発表会における質疑応答を評価する。	
		C-3	①英語を使った会話能力を育成し、日常的内容に関して、その会話を継続できるかを評価する。 ②英語を用いたリスニング・リーディング能力を育成し、主たる内容を理解できるかを評価する。 ③英語によるプレゼンテーション課題に取り組み、自分の意見をわかりやすく伝えることができるかを評価する。	
		C-4	①英語で書かれた工業分野に関するテキスト・論文を読む課題に取り組み、その主たる内容を理解できるかを評価する。 ②英語を用いたアブストラクト作成課題に取り組み、適切にその内容を表現できるかを評価する。	
(D)	複眼的かつ実践的能力	D-1	①「工学実験」を通じて総合的に評価する。 ②「総合創造実験」において、指定された実験テーマの指導書の作成と他分野の学生への実験指導を通じて、学生の実験計画・遂行能力を評価し、他分野の実験実施後に、結果の解析と報告書作成・報告会における説明を行うことにより、説明・説得能力を評価する。	①学士の取得
		D-2	①「卒業研究」や「特別研究」を通じて総合的に評価する。 ②「総合創造演習」のマイクロ・プロセス内蔵の装置製作の課題を通じて、装置の考案から創造性を評価し、与えられた期限内における材料手配・購入・製作・完成後の競技発表会を通じて総合的に評価する。	②TOEICスコア 400点相当以上
		D-3	①「卒業研究」や「特別研究」を通じて総合的に評価する。 ②「総合創造演習」において、与えられた課題に対して異なる機能を持つパーツを組み合わせて一つのパッケージにデザインし、それを実際に組み立ててどの程度課題を克服したかを総合的に評価する。	③学協会等での発表
		D-4	実験、実習、研究、インターンシップなどを通して実践的能力を身につけ、技術者が経験する実務上の問題や課題を理解して適切な対応ができること 与えられたテーマに関する問題点を自ら見出し、その解決方法の検討、実践を経て報告書にまとめ、発表する一連の作業を総合的に評価する。	
(E)	自主・自立と協調性	E-1	「卒業研究」や「特別研究」で、最新の研究テーマ、科学技術に触れ、研究テーマに関する学習、参考文献で得た知識や技術を基に自ら研究に取り組み、また、長期間研究を進めることにより、継続的な学習を体験させ、研究論文と審査・発表会の評価も含めて総合的に評価する。	
		E-2	「工学実験」、「総合創造実験」、「総合創造演習」において、与えられた課題やテーマ問題を与えられた条件（実験装置やグループ人数）の下で遂行し、期限内に結果を解析・考察するまでの一連の作業を総合的に評価する。	
		E-3	①「健康と科学」において、生涯スポーツとしての各種スポーツ種目を選択し、自主的に体力の向上をはかる能力や集団スポーツにおける協調性、さらに健康の維持増進に関する基本的な知識等を総合的に評価する。 ②実験や演習等のグループで実施する科目において、協調性を評価する。 ③「工場実習」や「インターンシップ」を通じて、社会の中での協調性を評価する。	

※全ての項目において、卒業・修了に必要な科目の修得が必要である。

別表 学習・教育目標と科目対応表

*専攻科

学習教育目標		JABEE	科目名						
A	A-1	C	数学群 応用数学Ⅱ 応用数学Ⅲ 電気数学演習 数学特論 数理学Ⅰ* 数理学Ⅱ*	自然科学群 一般物理 工業物理概論 自然科学概論 植物学 健康と科学 現代物理学* 一般化学* 構造生物化学*	情報技術群				
	A-2	C			情報処理Ⅰ 情報処理Ⅱ 情報通信ネットワーク 数値プログラミング 情報処理演習 情報科学* 数値解析* 情報基礎論* ソフトウェア科学概論*				
	A-3	d-1	基礎工学	専攻	設計・システム系	情報・論理系	材料・バイオ系	力学系	社会技術系
				共通	製造システム論*	情報基礎論* ソフトウェア科学概論*	機能材料論* 材料科学*	固体力学* 応用物理化学*	環境論* 技術者倫理 技術と哲学*
機械				制御工学	情報処理Ⅱ		機械力学 熱力学	文献講読 機械工学特別演習	
電気電子				制御工学 電気回路Ⅱ	電子計算機応用 情報通信 情報工学 情報科学*	電気電子材料	電気磁気学Ⅱ	生産システム工学*	
物質	品質管理 環境工学 移動現象論*	情報処理Ⅰ 情報処理Ⅱ	生物化学Ⅰ 生物化学Ⅱ	計算化学*	工業英語				
A-4	d-2a e	もの創り専門工学	専攻	材料・要素群	設計・製造群	評価・解析群	複合系群		
			共通			工業計測学*	生命科学*		
			機械	材料力学 弾性力学 材料力学特論 トラス・ロッド 場の力学* 破壊強度論*	機械工作法 工作機械 設計法 熱工学 流体工学 熱工学特論 設計製図Ⅰ 設計製図Ⅱ 工作特論 精密加工特論* 熱流動工学*	機構学 計測工学 流体工学特論 機械振動論* 粘性流体力学* 流れ学* 応用計測工学* 応用力学解析法*	電気工学 メカトロニクスⅠ メカトロニクスⅡ メカトロニクス工学*		
			電気・電子	電子工学 ソフトウェア科学Ⅱ 電気電子計測Ⅱ システム・プログラム論 高電圧工学 通信方式* 放電工学* 磁気工学*	電力工学 電気機器Ⅱ 電気設計 ロボット工学 制御工学特論 知識工学 システム工学 電子制御工学 電気エネルギー応用* 知識情報工学* メカトロニクス工学*	ソフトウェア科学Ⅱ 計測工学 電子回路Ⅱ 信号処理 情報通信特論 画像工学 画像情報工学* 非線形回路*	工学基礎概論 通信工学 電気法規・施設管理		
			物質	理論有機化学 機能材料科学 無機材料科学 有機材料科学 細胞・遺伝子工学 生体触媒工学 応用微生物学 資源化学 無機工業化学* 植物学特論*	化学工学 反応工学 生物環境工学 食品プロセス工学 酵素工学* 高分子工学*	機器分析 工業分析化学* 物理化学Ⅱ 物理化学Ⅲ 触媒プロセス工学*	電気電子工学概論 機械工学概論		
B	B-1	a	国際関係論	地理学	経済学	歴史学 第二外国語	対外交渉史論*	国際協力論*	
	B-2	b	技術者倫理	哲学	法学	技術と哲学*	社会福祉論*	環境論*	
C	C-1	f	日本語と文学	日本語表現法*	卒業研究	特別研究*	工学実験**		
	C-2	f	技術者総合ゼミ*	卒業研究	特別研究*	技術者基礎			
	C-3	f	英語 コミュニケーション	英会話	総合英語Ⅰ*	総合英語Ⅱ*	応用コミュニケーション*		
	C-4	f	科学英語文献ゼミ*	特別研究*	総合英語Ⅰ*	総合英語Ⅱ*	工業英語	文献講読 機械工学特別演習	
D	D-1	d-2 b	工学実験**	総合創造実験*					
	D-2	d-2 c	総合創造演習*	卒業研究	特別研究*				
	D-3	e	総合創造演習*	卒業研究	特別研究*				
	D-4	d-2 d	工学実験**	総合創造実験*	卒業研究	特別研究*	工場実習	インターンシップ*	
E	E-1	g	卒業研究	特別研究*	技術者総合ゼミ*	技術者基礎			
	E-2	h	工学実験**	総合創造実験*	総合創造演習*				
	E-3	h	工学実験**	総合創造実験*	総合創造演習*	健康と科学	工場実習	インターンシップ*	

工学実験**：(機械)機械工学実験、(電気)電気電子情報工学実験Ⅱ、(電子制御)工学実験・実習、(物質)物質工学実験3、物質工学実験4